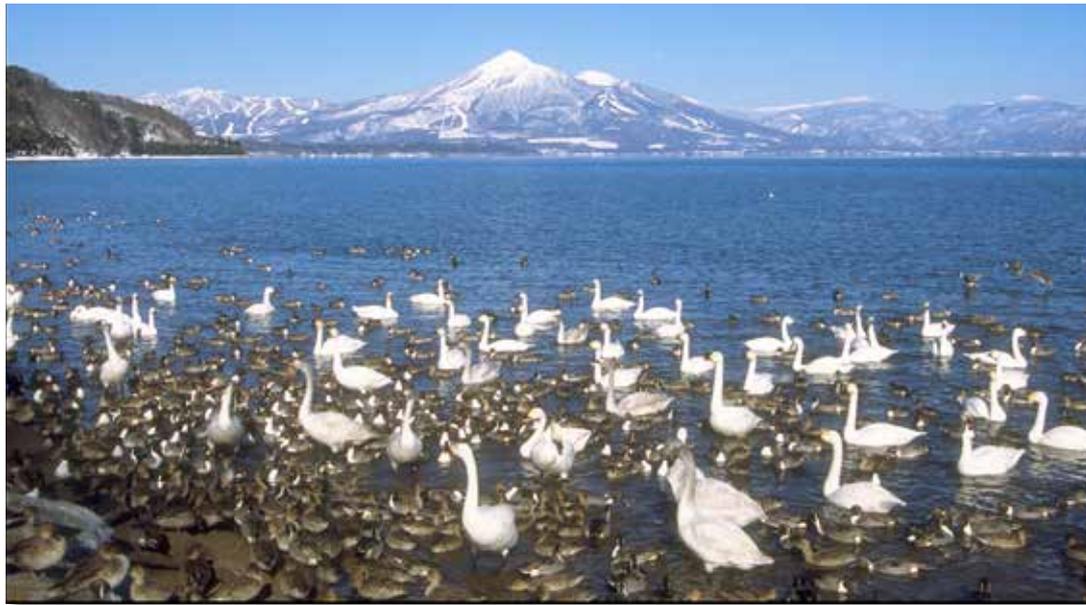


県酪だより

2016

1

No.218



年頭の挨拶

福島県酪農業協同組合

代表理事組合長

宗 像 実



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃、組合事業にご支援・ご協力を頂いておりますことに対して、厚くお礼申し上げます。

さて、東日本大震災並びに東京電力福島原子力発電所事故からすでに四年十カ月が経過しましたが、本組合の浜支所の四九戸の酪農家は未だに避難休業を強いられております。

今年、川俣町山木屋地区、南相馬市小高区などの避難解除準備区域の帰還が計画されておりますが、牧場再開への道のりはまだまだ遠く厳しい状況であります。

また、県内すべての酪農家におかれましても、放射性物質の汚染による、生乳出荷におけるリスク管理や自給飼料生産の制限などが継続されており、酪農家の精神的・経済的負担は大きく、酪農生産基盤に甚大な被害をもたらしています。

この様な中で、「復興ビジョン」として立ち上げた「ミネロファーム」は、現在順調に稼働しておりその使命を果たしております。

そして、新たな復興牧場としてス

タートを切った、「株式会社フェリスラテ」も計画通りに導入・分娩が進んでおり、順調に出荷乳量を伸ばしているところではあります。

これらの牧場は、福島県の酪農復興に向けたシンボリックな牧場であり、福島県の酪農振興にも大きく貢献するものであり、本組合としても重要事業として位置付け支援し、必ずや成功させたいと考えております。

これからも組合員の皆様方をはじめ、行政・関係機関各位のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年十月には、T P P交渉の閣僚会合で大筋合意がなされ、かつてない規模で農畜産物の市場開放が迫られるもので、農業者に大きな不安が広がっています。

農水省は品目別のT P P影響分析を取りまとめ、乳製品・牛肉とも当面の影響は少ないものの、長期的には脱粉やチーズ、乳用種牛肉など競合する国産品の価格下落を招く可能性を指摘しました。

今後は、酪農家が将来展望を見通せる経営安定対策の確立が急務であり、日本酪農政治連盟を中心に「酪農所得補償制度創設」による恒久的な制度の実現を強く求める活動を続けてまいりますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

また、「生乳流通体制の合理化の総合的な推進」が農水省から通知され、五年後以降の望ましい指定団体の姿

を含めた再編計画を今年度中に策定し、国に報告することとなり、組織・制度の見直しが求められています。

一方、口蹄疫や東日本大震災により十年ぶりに北海道で開催された、第十四回全日本ホルスタイン共進会に、本県代表として二頭が参加し、高校生をはじめ一致団結して臨みましたが、圧倒的な地元北海道の強さを見せつけられる中で、好成績を収めることができました。

出品された皆様には本当にご苦労様でした。

今回の九州宮崎県都市での開催に向け、ご準備方お願い申し上げます。

現在、本組合は昨年策定しました「第六次中期経営三カ年計画」を推進中であり、酪王乳牛(株)・(株)らくのう乳販との連携を密にし、将来に亘り組合員の負託に応え得る組織として積極的に事業を展開する所存であります。

本年も福島県酪農の力強い発展のため、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げますとともに、組合員の皆様にとつて幸多い年であり、新年のご挨拶と致します。

新年を迎えて

福島県農林水産部

部長 小野和彦



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様には日ごろより本県酪農・乳業の生産振興を通じて、県勢の発展に御尽力いただき深く感謝申し上げます。

また、安全・安心な生乳の生産に向けて、日ごろよりきめ細やかな乳用牛の飼養管理をされている御努力に対し、心から敬意を表します。

昨年は、子牛価格の上昇や二年続けての乳価引き上げ、三年ぶりの生乳生産量の増産など、酪農経営環境に明るい兆しが見られました。

また、浜通りの避難・休業酪農家五戸の共同経営による「復興牧場フェリスラテ」が、福島市に完成・稼働しましたことは、何より喜ばしいこと



であります。経産牛五八〇頭規模、年間生乳出荷量五、〇〇〇トンの生産を目指す東北最大級のメガファームであり、震災からの経営再開のモデルとして全国から注目されており、関係者の皆様の御活躍を期待いたします。

さらに、十年振りに北海道で開催された第十四回全日本ホルスタイン共進会では、本県代表牛一頭が出場し、一等賞に三頭が入賞されました。

また、後継者育成を目的に行われた高校生リードマンコンテストでは、県立岩瀬農業高等学校三年生の二名が出場し、三六名中十二位及び十四位とそれぞれ健闘されました。この成果は、本県酪農後継者の育成・確保が着実に進んでいる現れであり、大変心強く思いました。

あわせて、宮城県と共同出展した復旧・復興支援御礼ブースも好評であったことか

ら、本県酪農の復旧・復興の姿を全国にアピールできたものと考えております。

さて、本県酪農をめぐる情勢は、T P P 大筋合意に伴う酪農経営への影響や、酪農従事者の高齢化に伴う規模縮小等により、生産基盤の弱体化が懸念されております。

県におきましては、皆様方関係団体等との密接な連携の下、国に対し、農林水産業の競争力強化等の政策の充実に強く求めながら、本県畜産業の再生と振興のため、国が取りまとめた「総合的なT P P 関連政策大綱」に基づき施策を積極的に活用し、生産基盤

強化と収益力向上を進めてまいります。

また、避難・休業を余儀なくされている酪農家の皆様も、安心して営農が再開できるように、各種振興策を効率的に活用し、酪農復興の流れを一層加速してまいりますので、皆様の御理解と御協力をよろしくお願い致します。

結びに、貴組合職員と組合員の皆様との絆をより一層強くされ、本県酪農振興に向けて飛躍されることを御期待申し上げますとともに、今後ますますの御発展と御多幸をお祈りいたしまして、新年のあいさつといたします。

新年を迎えて

日本酪農政治連盟福島県支部連合会

会長 佐藤金正



本酪農政治連盟活動につきましては格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

東日本大震災と原子力発電所事故から既に四年十ヶ月が経過いたしました。原子力発電所事故の収束はもちろんのこと、空間線量の高い地域

年頭に当たり謹んで新春のお慶びを申し上げます。会員の皆様には日頃より日

は極めて広大であり、本組合の浜支所を中心とする地域は帰還の目途は一向につかめない現状であり、避難を余儀なくされている酪農仲間同志諸君に心からお見舞いを申し上げます。

ふるさと帰還の最大の課題は除染による放射線量の著しい低減による環境の回復であります。この作業の膨大さや困難さ、そして原子力災害が甚大であることに改めて心の痛みを覚えていきます。

わたしたち酪友が健全な酪農経営を持続させ、かつ安定的に安全な健康食品である「牛乳」を社会に供給している環境整備がもつとも求められていることであり、その状況を強固な形とするための国政としての仕組み作りが最大の課題であります。

特に大きな課題であるTPP協定に対する酪農政策の樹立を始めとして、異常な高値が続いている穀物価格を安定的に供給できるための配合飼料安定基金制度の新たな制度確立・自給飼料の安定生産対策・学乳をはじめとして高齢者も含めた確実なる消費拡大や消費定着等の対策・ヘルパー制度や後継者確保等の人

新年を迎えて

全国酪農業協同組合連合会 仙台支所

支所長 佐藤 弘



材育成対策等々、そして原発災害からの復旧・復興など酪友の心をひとつにして強力な政治連盟活動による豊かな酪農のふるさとを持続していけ

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より全酪連の各事業に特段のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

大震災から五年を経過しようとしておりますが、東北各地での復旧・復興が着実に進む一方で、原発事故の影響は様々な形で未だ色濃く残っており、特に避難された方々の酪農再開はなかなか先の見えない状況が続いています。

さて、昨年は、酪農を取り巻く環境に影響を与えるきわめて必要な事項がいくつもあ

るよう全力で立ち向かうことを誓うものであります。そして、会員皆様にとつて本年が最良の年であることを祈念しあいさついたします。

りました。春先には酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本指針が五年ぶりに示され、二十五年度の生乳生産量七四五千tに対し、三十七年度七五〇千tと初めて目標が現状維持となりました。また生乳取引のあり方の検討会では、乳価交渉の透明性を高めることや、入札取引の試験的導入が示されましたし、生乳流通体制の合理化を推進するため農林水産省生産局長通知が出され、その再編計画については三十二年度までに実現すべく今後毎年検証していくことが示されました。そしてTPPが大筋合意となり、将来的にはあるものの農業全体に影響を及ぼすものと推測されるため、自民党においてTPPでのマイナス影響を

抑制する対策措置が検討されることとなりました。これらのことはいずれも酪農・乳業界が大きな変革期に差し掛かっていることを表していると言えないでしょうか。貴組合におかれましては、昨年より新たに宗像代表理事組合長が就任され、新執行体制のもと、十月に復興牧場を立ち上げ、酪農を余儀なくされた酪農家五名による「株フェリスラテ」として経営を開始されましたことにつきまして、改めて敬意を表するとともに、今後福島酪農復興のシンボルとして活躍されますよう、弊会としても引き続き全面的にバックアップしていく所存です。

無償配布で、東北の牛乳と聞いただけで手を引かれた当時を知る役員は、確実に状況は良くなっていると感慨深く言っておられました。

酪農情勢は変革の時を迎えつつありますが、組合員の皆様が安心して搾っていただくける環境を作ることが弊会の組織使命であり、政策実現に向けての取組や酪農青年婦人会議活動を通じての理解醸成活動、そして何より酪農の現場に寄り添って、皆様と共に、酪農経営向上のため尚一層努力して参る所存です。

最後に貴組合の発展と組合員の皆様のご健勝・ご多幸を祈念し、新年のあいさついたします。

昨年十一月、東北酪農青年婦人会議として、少団連サポートクラブ（旧 渋谷区少年団体連盟）の協力を得て、震災以来四年ぶりに渋谷区民フェスティバルに参加し東北の牛乳製品を販売してきました。初日は雨にも関わらず二日間で商品は完売となったのですが、酪王乳業㈱のカフェオレを手に取り「これおいしいですよ。」と言って商品をお買い上げいただく消費者の姿を見て、震災直後の



平成27年度

福島県牛乳普及協会主催

ミルクキー図画コンクール審査会開催

県内で一，七二二点の応募！ 五〇点の優秀作品が選ばれました

福島県牛乳普及協会では、平成二十七年十二月十八日(金)福島市五月町にある酪農会館において平成二十七年年度ミルクキー図画コンクール審査会を開催致しました。

本年度は県内各地から一，七二二点と昨年度より更に多くの応募点数が集まり、会場いっぱい作品が並びました。

審査員には、福島市立余目小学校の阿部校長先生をはじめとし三名の審査員に審査をして頂きました。どの作品も画用

紙いっぱい元気よく描かれており子供の個性を感じられる作品ばかりで、審査にとっても苦勞されているようでした。厳選なる審査の結果、五部門各一〇点、合計五〇点の優秀作品が選出されました。

選出された五〇点の作品については、県内二会場で展示予定です。是非会場にお越し頂き元気あふれる作品をご覧くださいだけだと思います。



● 小学校の部 (低学年) 1年 國分 愛々 ●



● 小学校の部 (中学年) 3年 武田 要 ●



● 小学校の部 (高学年) 6年 高橋 涼羽 ●





● 幼稚園の部 (年長組) 5才 渡邊 陽翔 ●



● 幼稚園の部 (年少組) 4才 門馬 利房 ●

小学校の部 (低学年)

褒賞	小学校名	年齢	氏名
最優秀賞	大玉村立玉井小学校	1年	國分 愛々 (こくぶんねね)
優秀賞	いわき市立草野小学校	1年	江尻 芽生 (えじりめい)
	郡山市立富田西小学校	1年	吉田 結生 (よしたゆうき)
優良賞	福島市立鳥川小学校	1年	矢部 風花 (やべふうか)
	南会津町立南郷小学校	1年	馬場 愛佳 (ばばあいか)
	相馬市立桜丘小学校	2年	立谷かつね (たちやかづね)
	浅川町立浅川小学校	2年	齋藤 永遠 (さいとうとわ)
	会津若松市立城南小学校	1年	高橋 愛尋 (たかはしまひろ)
	郡山市立大成小学校	1年	石井乃々花 (いしいののか)
	会津若松市立城北小学校	2年	室井 優多 (むろいうた)

幼稚園の部 (年少組)

褒賞	幼稚園名	年齢	氏名
最優秀賞	相馬市立飯豊幼稚園	4才	門馬 利房 (もんまとしふさ)
優秀賞	学校法人多田野幼稚園	4才	中村 歩華 (なかむらあゆか)
	学校法人同朋学園同朋幼稚園	3才	濱尾 珠那 (はまおしゆな)
優良賞	相馬市立磯部幼稚園	4才	伊藤 慶人 (いとうけいと)
	いわき市立内町幼稚園	3才	猪狩 想 (いがりそう)
	にわか保育園	4才	安立仁夏子 (あだちにかこ)
	学校法人多田野幼稚園	4才	橋本 萌生 (はしもとめい)
	玉川村立すがま幼稚園	4才	矢吹 仁愛 (やぶきにな)
	学校法人岩代学園岩代幼稚園	4才	工藤 悠大 (くどうゆうだい)
	相馬市立八幡幼稚園	4才	飛田俊一朗 (ひだしゅんいちろう)

小学校の部 (中学年)

褒賞	小学校名	年齢	氏名
最優秀賞	郡山市立富田東小学校	3年	武田 要 (たけだかなめ)
優秀賞	会津坂下町立坂下東小学校	3年	菅家 志縁 (かんけしえん)
	会津若松市立松長小学校	3年	高橋 梓希 (たかはしあすき)
優良賞	白河市立白河第二小学校	3年	鈴木 暖平 (すずきだんぺい)
	会津坂下町立坂下東小学校	3年	今井 娃花 (いまいあいか)
	大玉村立玉井小学校	4年	大内 美桜 (おおうちみゆ)
	会津若松市立城北小学校	4年	鷲尾 真美 (わしおまみ)
	福島市立鳥川小学校	4年	鈴木ひなた (すずきひなた)
	郡山市立大成小学校	4年	熊田 帆南 (くまだはんな)
	郡山市立富田東小学校	3年	志田 柚季 (したゆすき)

幼稚園の部 (年長組)

褒賞	幼稚園名	年齢	氏名
最優秀賞	学校法人多田野幼稚園	5才	渡邊 陽翔 (わたなべはると)
優秀賞	玉川村立すがま幼稚園	5才	有賀りりあ (ありがりりあ)
	会津慈光こども園	6才	佐藤 陽菜 (さとうはるな)
優良賞	うめぐ保育園	5才	佐藤 滉輔 (さとうこうすけ)
	認定こども園慈光第二幼稚園	6才	岩崎 翔空 (いわさきとあ)
	若松第二幼稚園	6才	小久保 頼 (こくぼらい)
	相馬市立大野幼稚園	5才	林 恵汰 (はやしけいた)
	相馬市立磯部幼稚園	5才	菊地 翔真 (きくちとうま)
	学校法人多田野幼稚園	5才	鈴木 美結 (すずきみゆ)
	会津慈光こども園	6才	金井 花織 (かないかおり)

小学校の部 (高学年)

褒賞	小学校名	年齢	氏名
最優秀賞	会津若松市立城南小学校	6年	高橋 涼羽 (たかはしすずは)
優秀賞	郡山市立富田東小学校	6年	橋本 暖垂 (はしもとのあ)
	郡山市立片平小学校	5年	藤田 薫子 (ふじたかおるこ)
優良賞	いわき市立長倉小学校	5年	佐久間正剛 (さくませいごう)
	郡山市立東芳小学校	6年	山口 樹 (やまぐちみき)
	会津若松市立松長小学校	6年	伊藤恵里佳 (いとうえりか)
	葛尾村立葛尾小学校	5年	佐久間亮次 (さくまりょうじ)
	郡山市立富田東小学校	6年	千葉 彩乃 (ちばあやの)
	須賀川市立稲田小学校	6年	大波 由芽 (おおなみゆめ)
	会津若松市立一箕小学校	6年	星 大翔 (ほしひろと)

●郡山駅前 モルティ
平成28年2月23日(火)~2月29日(月)AM

●コラッセふくしま 1Fアトリウム
平成28年3月3日(木)PM~3月7日(月)AM

郡山と福島の会場で
作品展示されます!
ぜひ見に来て下さい!



県酪婦人部 やまびこ会

牛乳・乳製品を使った料理研究会 開催



①課題料理
「カッテージチーズ」を作り、
それを使った料理……………1品

②自由料理
「牛乳乳製品を使用した料理」…1品



調り・試食後、皆さんより感想・意見を発表し、学校給食会川本輝子先生より、栄養面からみた料理の感想・アドバイスをそれぞれの料理についていただきました。川本先生からは、「チーズをフライにすることや伝統食の現代風

理と自由料理の二種類を各支所やまびこ会より紹介していただき、検討し合う研究会という内容で行われました。

去る十二月九日(水)県酪婦人部やまびこ会(会長 中瀬明美)の牛乳乳製品を使った料理研究会が、福島市松川町の(公財)福島県学校給食会に於いて開催されました。



なアレンジ、手に入りやすい食材での工夫や簡単で見ただ目も綺麗な料理などの独創性あふれる料理、発想がすばらしく参考になりました。さらに栄養豊富なホエイも無駄にしないで、スープに使うなど栄養を余すところなく摂取出来る料理でした」と、とても感心されておられました。今回の料理の中から四種類をレシピカードにして県内数か所のスーパーで配布することになりました。

カッテージチーズは市販の牛乳でも、酢やレモン汁の凝固で簡単に出来るので、作り方を消費者の方に知っていただき、家庭でも料理やお菓子に使用する頻度が増えてくれることを願っています。今後も、皆でアイデアを出し合い牛乳料理を広める事業を展開していきたいと思いましたが。



福島県牛乳普及協会主催

昨年につづき、2回目!! いわき市・会津若松市で
「親子でミルククッキング教室」 を開催!!

平成二十七年十一月二十一日
 (出・二十二日)いわき市、会津若松市の二会場において小学三年生と保護者を対象に親子でミルククッキング教室を開催致しました。



四品をワンプレート風に!!
 すべてに牛乳乳製品を使っています!!レシピは10Pに!!



1日を通しての最後に宗像会長より、「ミルクシェフ認定書」を参加した子供たちに!!

昨年度に続き、二回目の開催でしたが、本年度も泉崎村出身で料理家の本田よう一先生を講師とし牛乳・乳製品を使った料理を楽しく教えて頂きました。今回は「長いもとパプリカのミルク煮」「みそコーンポタージュ」「鶏肉のバター照り焼き」「水菜のおかかチーズあえ」の四品を調理し、牛乳・乳製品が苦手な方でも美味しく食べることがで

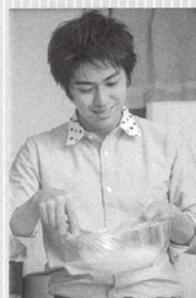


「ミルクシェフ認定書」には、料理の最中の子供たち1人ずつチェキで撮影した写真もついた認定書!!

き、簡単で家庭でもすぐに作れる内容でした。四品の中でも特に「長いもとパプリカのミルク煮」は両会場とも美味しいと好評でした。

その他、ペットボトルでのバター作り、カッターチーズの作り方の実演、牛乳乳製品に関する食育教室と盛りだくさんの内容となりました。

今後も牛乳乳製品を身近に感じて頂けるよう、いろいろな活用方法等を発信していきたいと思しますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。



ミルククッキング講師
本田よう一先生 (泉崎村出身)

1983年生まれ泉崎村出身。高校を卒業した後、栄養士の専門学校に進み、栄養士の免許を取得。卒業後は独学で、料理写真を学び、フリーカメラマンに。2006年からは料理家として仕事を開始。野菜をたっぷり使い、素材の味を活かしたレシピを得意とし、家族みんなで楽しめる味付けに定評がある。現在は料理家として食べてくれる人にやさしく、作ってくれる人にもやさしくをモットーとしている。あったかふくしま観光交流大使として活動中。
 <フリーペーパー>aruku ばばとたん e-cooking
 <TV>KFB福島放送「ドミソラ」本田よう一のうれシビ



昨年に続き、本田よう一先生が講師を務めたのしく料理をおこない、参加した親子に大人気でした!!

お料理だいすき!

ツキング教室



11月

21日
SAT

いわき会場

ペットボトル
をのせて、バター
を作るのかとて
難しくなれた。
また家でもやりたい
と思、いました。



ミルク料理が、おいしくて、
作、ても楽しかった。



わたしは、牛にゅうがきらいだったけど
今日作ったのが、とってもおいしくて
すきになりました。

でも、バター作りたいたん



福島県牛乳普及協会主催

11月
22日
SUN

会津会場



牛乳だいすき!

親子でミルククッキング

私は牛乳をメインに使う料理を作ったことがありませんでした。牛乳は料理によく使うけれど、メインというのはなかなかないと思います。でも、牛乳をたくさん使うことで、苦みのある野菜や、普段はなかなか食べられないようなものも、食べやすくなりました。今後も使っていきたいです。

私は牛乳というと飲む事だけを考えていましたが牛乳は食べる時にも使えることにびっくりしました。これからの料理に生かしたいです。



MILK 2 みそコンポータージュ



材 料 (2人前)

- コーン水煮缶 (130g) 1/2缶
- コーンクリーム缶 (190ml) 1缶
- 牛乳 1カップ200cc
- 小口切りにした小ねぎ 適量
- A: 酒 大さじ1
- 昆布茶 小さじ1
- みそ 大さじ1~1と1/2

※大さじ1=15cc、小さじ1=5cc

作り方 (調理時間5分)

- 鍋にコーン缶、コーンクリーム缶、牛乳、Aを入れて中火で2分ほど混ぜながら温める。ふつふつとしてきたら、みそを溶き入れて、よく混ぜる。器に盛りつけて、小ねぎを散らす。

Point!

ミルクとお味噌の相性が抜群! お味噌をよく混ぜてね!

MILK 4 水菜のおかかチーズあえ



材 料 (2人前)

- 水菜 2株 (70~80g)
- 砂糖 小さじ1/2
- A: 削り節 2g
- 粉チーズ 大さじ1
- しょうゆ 少々

※大さじ1=15cc、小さじ1=5cc

作り方 (調理時間5分)

- 水菜を4cm幅に切り、砂糖をまぶし、しんなりするまでおく。水洗いし、水気をきる。Aを加えてからめておく。

Point!

粉チーズが決め手! チーズと削り節とのハーモニーを楽しんで。

<粉チーズの代用: 「カッテージチーズ」の作り方>

- 牛乳300ccを鍋に入れて60℃くらいに温めて、酢を加えて、軽く混ぜる。
- ざるにキッチンペーパーを入れて、1を流す。20分ほど置けばできあがり。

MILK 3 鶏肉のバター照り焼き



材 料 (2人前)

- 鶏もも肉 大1枚 (300g)
- しいたけ 2枚
- 長ねぎ 1/2本
- サラダ油 小さじ1
- バター 適量
- A: しょうゆ 大さじ1
- みりん 大さじ1
- 酒 大さじ1
- 砂糖 小さじ1

※大さじ1=15cc、小さじ1=5cc

作り方 (調理時間15分)

- 鶏肉はフォークで数十カ所、穴をあける。しいたけは石づきを切り、縦半分に切る。ねぎは5mm間隔で切り込みを入れて6cm長さに切る。
- フライパンにサラダ油を入れて、鶏肉は皮目を下にして入れる。フタをして、中火で5分蒸し焼きにする。時折、フライ返しなどで押し付ける。鶏肉を返して、ねぎとしいたけを加えて、さらに3分蒸し焼きにする。
- しいたけとねぎを取り出し、Aを加えて、とろみが出るまで煮からめる。取り出し、食べやすい大きさに切り、盛りつける。手作りバターをのせてできあがり。

Point!

付け合わせのバターがおいしみのキーマン! ペットボトルに入れたミルクと生クリームをココロコ音がするまでしっかり振ろろ!

MILK 1 長いもとパプリカのミルク煮



材 料 (2人前)

- 長いも 300g
- 赤パプリカ 1/2個
- ベーコン 3枚 (30g)
- 青のり 適量
- A: 牛乳 1カップ200cc
- 酒 大さじ1
- みりん 大さじ1
- 昆布茶 大さじ1/2
- しょうゆ 小さじ1

※大さじ1=15cc、小さじ1=5cc

作り方 (調理時間15分)

- 長いもは皮をむき、乱切りにする。パプリカも乱切りにする。ベーコンは4cm幅に切る。
- 鍋に1とAを入れて、5~8分ほど煮る。煮汁にとろみがついたら、しょうゆを加えて、一煮立ちさせる。器に盛りつけて、青のりを散らす。

Point!

ミルクをこけたクイック煮物! 長いもがほっくりしてきたらOK!

おうちでできる、親と子で楽しむ簡単レシピ

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

2015年11月30日現在

区 分	酪農家戸数			乳 牛 頭 数							合計	前年度 頭 数	前年比	1 戸当 り頭数
	組合／支所	戸数 (避難戸数)	前年度 戸 数	前年比	育成	初妊	経 産 牛							
							乾乳 妊娠	妊娠 搾乳	空胎 搾乳	小計				
県 北 支 所	(7)24	24	100.0	252	370	82	210	454	746	1,368	1,166	117.3	57.0	
安 達 事 業 所	22	22	100.0	110	63	73	121	262	456	629	641	98.1	28.6	
県 中 支 所	30	34	88.2	136	82	99	140	500	739	957	1,049	91.2	31.9	
田 村 事 業 所	28	28	100.0	30	16	30	64	174	268	314	347	90.5	11.2	
浜 支 所	(14)11	13	84.6	84	28	21	60	155	236	348	372	93.5	31.6	
小 野 事 業 所	27	29	93.1	59	31	58	91	222	371	461	519	88.8	17.1	
会 津 事 業 所	9	9	100.0	63	31	34	52	132	218	312	319	97.8	34.7	
県 南 支 所	57	60	95.0	681	269	329	657	1,210	2,196	3,146	3,270	96.2	55.2	
JAそうま飯館総合支店	(11)0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
県 酪	208	219	95.0	1,415	890	726	1,395	3,109	5,230	7,535	7,683	98.1	36.2	

区 分	月 別 分 娩 予 定 頭 数							販 売 乳 量				
	2015 12月	2016 1月	2016 2月	2016 3月	2016 4月	2016 5月	2016 6月	牛乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
									1日当り	1日1戸 当り	搾乳牛	経産牛
県 北 支 所	155	150	119	90	38	59	51	24	15,989	666	24.1	21.4
安 達 事 業 所	49	44	28	31	28	28	49	22	9,761	444	25.5	21.4
県 中 支 所	54	61	48	45	36	26	51	30	16,062	535	25.1	21.7
田 村 事 業 所	16	20	12	23	8	15	16	28	5,293	189	22.2	19.8
浜 支 所	13	19	19	19	13	13	13	9	5,260	584	24.5	22.3
小 野 事 業 所	33	34	19	20	25	21	28	27	8,033	298	25.7	21.7
会 津 事 業 所	16	20	24	9	17	13	18	9	4,407	490	24.0	20.2
県 南 支 所	184	170	162	160	151	164	264	57	51,359	901	27.5	23.4
JAそうま飯館総合支店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
県 酪	520	518	431	397	316	339	490	206	116,163	564	25.8	22.2

平成27年度受託乳量の状況

平成27年11月の受託乳量は、県全体で前年比95.4%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,486トﾝ、前年比96.3%（対前年同月134トﾝ減）と下回り、全農県本部は1,910トﾝの対前年比93.9%（対前年同月125トﾝ減）

の実績でありました。

東北生乳販連の受託実績については、前年比99.7%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比100.5%であります。（北海道：102.0%、都府県98.8%）

平成27年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

11月の東北全体での用途別販売状況については、学乳向けは103.1%、醗酵乳向けが115.8%（全国の前年比105.7%）、加工乳向けは前年比100.1%（全国の前年比103.6%）と上回り、飲用向けは97.1%（全国の前年比99.9%）、生クリーム向けは94.9%（全国

の前年比97.5%）、チーズ向けは98.3%（全国の前年比100.7%）と前年を下回り推移した。

なお、今月の当組合酪王乳業での生乳使用量は日量平均46.1トﾝで、本組合生産量の39.7%、県全体生産量の25.6%となっております。

平成27年度月別支払乳価表

11月分支払乳価については、昨年4月より飲用向け、醜酵乳等向けが値上げされ、また加工向けにおいても北海道の価格交渉結果に準じて値上げされ全用途について価格改定がされております。プール乳価は2円85銭前年より上回り、補給金単価は前年を5銭下回り、差引前年より2円86銭上回る単価となりました。

■東北全体プール乳代金 4,273,276千円 単価106.067円
 ■内 福島県分プール乳代金① 501,606千円 単価106.067円
 プール対象外乳代金② 99,396千円
 (学乳向け・買取向け乳代金)
 合計乳代金①+② 601,002千円 単価111.368円

項目	27年11月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	105円908	103円054	2円854	101円761
補給金単価	0円951	0円946	-0円05	0円866
合計	106円859	104円000	2円859	102円627

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体11月)

用途別	販売乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)
飲用向け	29,565	986.0	97.1
加工向け	3,177	106.0	100.1
学校給食向け	2,805	94.0	103.1
醜酵乳向け	5,563	185.0	115.8
生クリーム向け	1,701	57.0	94.9
チーズ向け	281	9.0	98.3
全乳哺育向け	1	0.0	96.7
合計	43,093	1,437.0	99.7

団体別受託乳量の状況

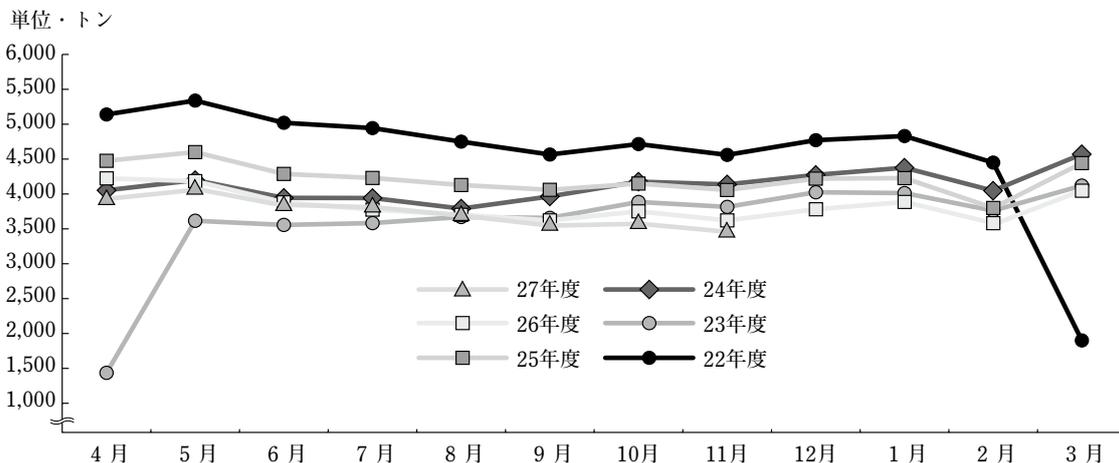
団体名	11月分		
	受託乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)
県酪協	3,486	116.2	96.3
全農福島県本部	1,910	63.7	93.9
合計	5,396	179.9	95.4
東北生乳販連	43,093	1,436.4	99.7
全国	564,963	18,832.1	100.5

備考

1) 買取乳量を除く

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
22年度	5,140	5,322	5,018	4,944	4,753	4,566	4,714	4,560	4,764	4,829	4,445	1,899	54,954
23年度	1,436	3,614	3,544	3,581	3,669	3,656	3,874	3,815	4,030	4,012	3,759	4,118	43,108
24年度	4,052	4,200	3,943	3,913	3,790	3,964	4,178	4,110	4,273	4,373	4,054	4,569	49,419
25年度	4,476	4,605	4,287	4,231	4,129	4,062	4,149	4,053	4,219	4,276	3,807	4,343	50,637
26年度	4,148	4,185	3,879	3,775	3,703	3,621	3,749	3,620	3,781	3,886	3,577	4,035	45,959
27年度	3,921	4,061	3,836	3,802	3,658	3,513	3,575	3,486					29,852
前年比%	94.5	97.0	98.9	100.7	98.8	97.0	95.4	96.3					97.3



年次別・月別支払乳価一覧（補給金を含む）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	105.116	105.882	106.888	105.964	105.240	107.090	107.342	106.859					106.298
26年度	100.739	102.193	103.829	102.826	101.978	104.278	104.043	104.000	102.000	102.606	103.222	101.321	102.753
25年度	96.846	98.345	99.659	98.837	97.220	99.688	102.698	102.627	100.215	100.738	101.861	99,542	99,856
24年度	96.446	97.780	99.371	98.530	97.817	100.446	99.772	99.452	97.324	97.231	97.699	95.806	98.140

第242回 県酪協乳牛市場成績

平成27年12月14日開催

購買者数 41名（うち県外12名）

区分	畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)	
ET和牛 初生牛	ET和牛	メス	7 (100)	451,000 371,000	421,000 (102)	103 (116)	4,087 (88)	
		雄	27 (96)	566,000 236,000	470,778 (99)	103 (106)	4,556 (94)	
	乳牛	メス	3 (100)	50,000 3,000	32,000 (94)	55 (83)	585 (114)	
		雄	78 (100)	149,000 5,000	113,795 (176)	78 (104)	1,464 (169)	
	交雑牛	メス	99 (100)	269,000 125,000	203,232 (124)	67 (96)	3,019 (130)	
		雄	117 (100)	326,000 160,000	268,444 (111)	73 (101)	3,653 (110)	
	初任牛			16 (100)	709,000 597,000	645,750 (124)		
	搾乳用雌子牛			14 (100)	333,000 263,000	303,000 (112)		

価格：円（落札価格） 率・比：% 体重：kg

初生牛の畜種別価格帯毎分布表

（0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です）

畜種	雌雄	価格帯(万円)																											
		23	~	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56			
ET和牛	メス						1		1	1			1	1	2														
	雄	1		1		1	1	1		1	1	1	2	1		1			2	2	1	2	2		3	3			
畜種	雌雄	価格帯(万円)																											
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24			
乳牛	メス	1				1	1																						
	雄	1			3		2		2			7	20	31	9	3													
畜種	雌雄	価格帯(万円)																											
		0	~	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34			
交雑牛	メス			1		2	2	11	9	4	14	9	15	15	5	5	3	4											
	雄							1		2	1		1	2	6	4	18	17	21	27	11		3	3					

初妊牛・搾乳用雌子牛の価格帯別分布表

価格帯(万円)	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74
初妊牛										1		2	4		1	3	1	2	1		1				
価格帯(万円)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
搾乳用雌子牛																	1		2	1	4	5		1	

組 合 の 動 き 12 月

- 12月1日 第9回理事会
- 12月3日 福島県原子力発電所廃炉に関する安全確保県民会議
- 12月4日 県北支所組合員研修会
- 12月7日 県中支所会津支部・研究会会津方部合同研修会
- 12月9日 やまびこ会牛乳料理講習会
- 12月10日 福島県獣医師会理事会
- 12月14日 乳牛セリ市場
- 12月14日 福島県農業会議常任議員会議
- 12月16日 福島県生乳委託者委員会幹事会
- 12月18日 ミルキー図画コンクール審査会
- 12月21日 小野事業所に関する説明会
- 12月21日 田村事業所に関する説明会
- 12月22日 酪王乳業株取締役会
- 12月24日 生乳流通体制の合理化に関するブロック担当者会議
- 12月28日 第9回経営検討会
- 12月28日 第8回再建検討委員会

理 事 会

第9回 12月1日

議 案

- 議案第1号 平成27年度第2四半期実績報告及び部門別損益報告並びに定期監査報告について
- 議案第2号 平成27年度畜産競争力強化対策緊急整備事業（木目澤牧場）について
- 議案第3号 平成27年度年末手当の支給について

報 告 事 項

- 1) 今後の日程について
- 2) 復興牧場経営計画について
- 3) TPP協定交渉の合意内容について
- 4) 平成27年度第2四半期再建負債農家の現況について



去る十二月二十一日(月)午前十一時より県北支所会議室にて、県北やまびこ会「フラワーアレンジメント教室」を開催しました。会員一八名が参加しました。川俣町の「保原屋生花店」を経営する原田徹店長と佐藤さんを講師に招き、ご指導いただきました。



県北支所

県北やまびこ会「フラワーアレンジメント教室」開催



た。今回もお正月用アレンジという事で、使用花材（松・竹・梅・菊等）の説明を聞きました。お正月の花は「気高い日本が末永く繁栄するように。」と言われております。約一時間かけて華やかな作品に仕上げました。

バイエル子牛の健康講座 おしえて！ウッシー先生⑨

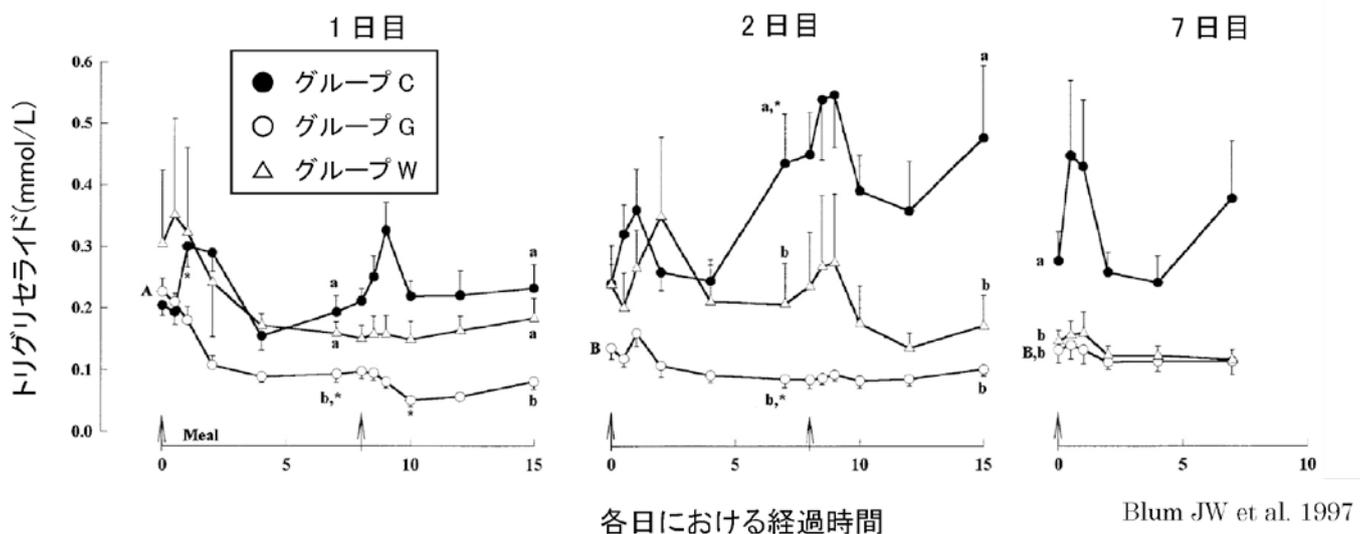
今月は「生まれたばかりの子牛への初乳給与の遅れが及ぼす影響」について脂質や脂溶性ビタミンの観点から考えたいと思います。

まず、出生した子牛を次のように3つのグループに分けました。

- ①グループ C: 出生当日と翌日に初乳を与えた群
 - ②グループ G: 出生当日は砂糖水を、2日目と3日目に初乳を与えた群
 - ③グループ W: 出生当日は水を、2日目と3日目に初乳を与えた群
- ①は出生後3~7日、②③は出生後4~7日の間は常乳を給与しました。



血中のトリグリセライドの値について下の図をご覧ください。出生当日に初乳を給与されていないグループ G と W は生後7日目においても血中トリグリセライドが上がっていません。



同様に出生初日に初乳を給与しないと、トリグリセライドと同様に各種脂溶性ビタミン濃度も低い値のままであることが示されています。つまり、初乳給与が出生後24時間以降となってしまうと免疫グロブリンと同じく、脂肪分や脂溶性ビタミンが不足してしまうといえるでしょう。もちろん吸収性においては「カード形成」が重要であることは言うまでもありません。



バイエル薬品株式会社

動物用薬品事業部

〒981-3133

仙台市泉区泉中央 1-14-1 インテレクト 21

TEL (022)776-0271

ZENOAQ

コーナー～Vol.134



〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全業工業(株) 福島営業所

TEL024-945-2306 FAX024-945-9345

子牛の下痢症は、多くの農場で頭を悩ませている疾患ではないでしょうか？ 特に出生直後の子牛は、抵抗力が低く悪化すると死に至るケースもあります。そのため、子牛の下痢を発症させないようにしていくことはもちろん、発症しても悪化させないことが重要です。

■ 初乳から得られる免疫の重要性

子牛の下痢症を発症させないためには、Vol.6でも紹介しました様に、いくつか方法がありますが、今回は一番重要となる初乳からの免疫に着目したいと思います。

下痢をしない健康な子牛を作るためには、免疫グロブリン(IgG)が多く含まれている初乳を摂取させることが大切です。初乳のIgG濃度が低ければ、病原体に対する抗体が足りない可能性があります。特に初産牛の初乳はIgG濃度が低いことが多く、**出生子牛には初乳製剤を給与するなどの対策が必要です。**



糖度計の例

(ポケットデジタル屈折計APAL-1)

右図は、母牛の初乳中IgG濃度とそれを摂取した子牛の血清中IgG濃度の相関を調査したものです。IgG濃度が低い初乳を摂取した子牛は、血清中のIgG濃度が低いという結果が出ています。この血清中IgG濃度は、初乳中IgG濃度以外にも様々な影響で変動します。

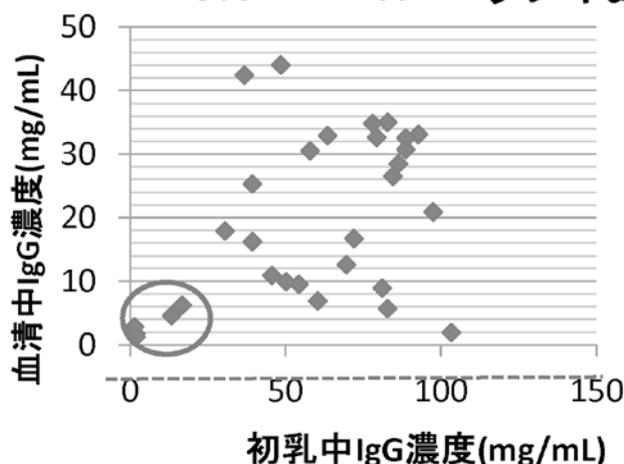
血清中IgG濃度が基準値以下であることは、下痢を引き起こす病原体への抵抗力が低下している状態を表します。

良質な初乳
Brix値：20%以上

初乳中のIgG濃度は、糖度計を用いてBrix値を測定することで簡便に推測できます。初乳中IgG濃度とBrix値には相関関係があることが知られており、初乳の質における判定基準の一つとして有用です。

初産～4産 5頭計測事例

16%～24% バラツキあり

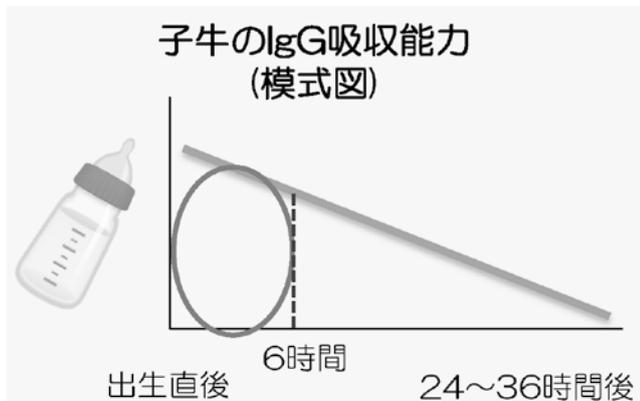


ZENOAQ 中央研究所データ (未発表)

血清中IgG濃度の基準 (生後3日以内)
ホルスタイン種：10mg/mL
黒毛和種：20mg/mL

■血清中IgG濃度を上げるには

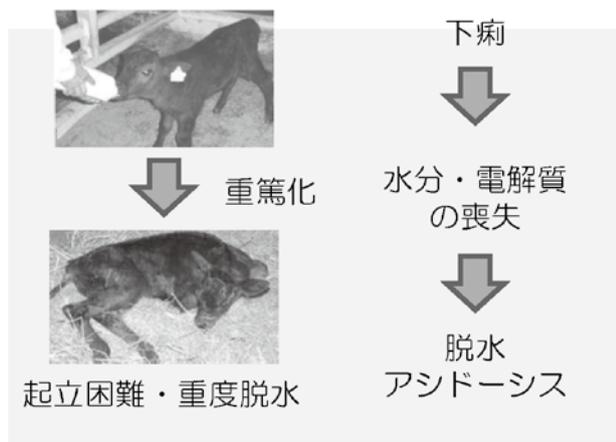
血清中IgG濃度を上げるには、初乳中のIgGを吸収できるようにする必要があります。



IgGの吸収に影響する要因

- ・ **タイミング**
IgG吸収能力は左図のように消失します。初回の初乳給与は6時間以内が必須です。
- ・ **給与量**
一般的に、体重の10～12%が初乳給与量の目安です。
- ・ **リッキング**
出生時に母牛が子牛を舐める行為で、IgGの吸収力を高めます。
- ・ **細菌汚染**
初乳中に細菌が存在するとIgG吸収が阻害されます。初乳自体や給与器具の細菌汚染にはご注意ください。

■下痢の症状を悪化させないために



実際に下痢になると、水分や電解質が失われて脱水やアシドーシスを起こし、重篤化してしまいます。重篤化して子牛がミルクを長時間摂取できないと、小腸の吸収部位である絨毛の萎縮が起こり、吸収不全の悪循環が起こってしまうこともあります。

発症した場合には、悪化させないよう早めに対応することが重要です。

発症しても吸乳反射のあるうちであれば経口補液を行うことができます。経口補液療法は、下痢症の初期治療として使用され、その使用の有無はその後の病状に大きく影響すると言われています。

経口補液剤にも様々ありますが、主に右のような物質が含まれており、下痢により失われた成分を早期に補正します。

病気の子牛は、エネルギー要求量が健常牛に比べて20%増加しますのでエネルギー不足にもご注意ください。



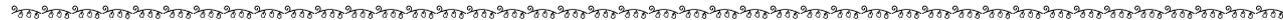
- 子牛が下痢を起こした際は、早めに担当の先生にご相談ください。

平成26年度 牛乳・乳製品利用料理コンクール 福島県大会入賞レシピ



イソ カルボナーラ

福島県立相馬東高等学校
七宮 朋美さんの作品



●●● 材 料 ●●●

(材料:4人分)

- | | | | |
|--------------|------|------------|------|
| ・パスタ | 400g | ・粉チーズ | 40g |
| ・生クリーム | 80ml | ・卵 | 1個 |
| ・バター | 20g | ・卵黄 | 2個 |
| ・たこ(生食用) | 100g | ・スープの素(顆粒) | 大さじ1 |
| ・あおさ(もどしたもの) | 20g | ・塩 | 少々 |
| ・ニンニク | 1片 | ・コショウ | 少々 |

●作り方

- ① パスタをゆでる。
- ② フライパンにオリーブオイルとバターを入れ、にんにくを炒め、香りを出す。
- ③ ボウルに卵、卵黄、生クリーム、粉チーズ、あおさ、塩、コショウを入れ、よく混ぜる。

- ④ ②のフライパンにお玉3杯のゆで汁を入れ、加熱する。
- ⑤ ④にゆで上がったパスタ、②の卵液、たこを加えフライパンを揺すりながらよく和える。



タコと青のりの磯の香りとクリーミーさが、たまりません。

東北酪農青年婦人会議主催の東北酪農発表大会が宮城県で開催！！

- ・経営発表の部 柚原友加津さん(浜酪農青年研究会)
- ・意見体験発表の部 宗像 敦さん(県中酪農研究会)

福島県代表として2名が発表いたしますので、発表者の応援にいきましょう♪

第45回(平成28年度)東北酪農発表大会が3月23日(水)～24日(木)に、宮城県松島町の「ホテル松島大観荘」にて、開催されます。福島県代表として、経営発表の部 柚原友加津さん(浜酪農青年研究会)、意見体験発表の部 宗像敦さん(県中酪農研究会)が発表いたしますので、ぜひ、県内からも発表者お二人の応援に、ご参加ください。

現在、東北酪農発表大会への参加募集を行っておりますので、2月24日(水)までに各研究会・各やまびこ会事務局までお申込みください。また、7月には、第45回全国酪農発表大会が愛知県名古屋市にて開催される予定です。ぜひ、全国大会を目指し、発表者のお二人の応援をよろしくお願いいたします。



1. 日 程 平成28年3月23日(水)～24日(木)
2. 場 所 「ホテル大観荘」 宮城県宮城郡松島町
3. 参 加 費 (1) 全日程参加(宿泊有り) 18,000円/1人
(2) 発表大会・懇親会(宿泊無し) 10,000円/1人
(3) 発表大会のみ参加 3,000円/1人
4. 募集締切 平成28年2月24日(水)まで
5. 申 込 先 各研究会・各やまびこ会事務局まで

『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由(ほっと(^o^)/する話題がいいですね)
 - ◎文章だけでも結構です。
 - ◎写真があると最高です。
2. 受付(常時受け付けています)
 - メール・FAX・支所経由・直接持参、何でもOKです。

E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp・FAX0243-33-1103

発 行 者 福島県酪農業協同組合
発行責任者 常務理事 岡 正宏

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地
TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103
URL http://www.fukuraku.or.jp/